基本方針と成果指標

それぞれの基本方針が図られているかどうか判断するための指標を定めます。指標については、数値で判断できるものとし、現在の数値と３年後の目標数値を記載する予定です。

①　公共交通空白・不便地域の解消

各地域の実情に即した移動手段の実現に向けて、新たな住民バスの創出や既存住民バス運営の安定化を進めることで、公共交通空白・不便地域の解消を図ります。

想定される指標

	現状	⇒	３年後
新たな移動手段を構築	０件	⇒	

②　既存公共交通のさらなる利便性向上

区民が区内外に円滑に移動できるよう、また当区への来訪者にとっても移動しやすい環境となるよう、区バス・住民バスやタクシー事業等が有機的に連動することで利便性の向上を図ります。

想定される指標

	現状	⇒	３年後
区バス・住民バスの利用者総数	152,812 人	⇒	
区バス・住民バス利用状況の周知	０件	⇒	

※区バス・住民バスには、延伸路線は含まない

③　公共交通をみんなで支える意識づくり

地域で築いてきた公共交通を、地域全体で守り、育てていくため、意見交換等の場を積極的に設け、区民や公共交通関係者同士の連携強化を図り、地域の公共交通に対する意識を高めます。

想定される指標

	現状	⇒	３年後
市政世論調査 区として良くなっているもの （項目：公共交通の充実）	５．８％ （第 46 回）	⇒	